６江北高第１号
令和６年４月１日

令和６年度　東京都立江北高等学校　学校経営計画

校長　江　本　敏　男

１　目指す学校

高い意欲と使命感をもった教職員の協働体制のもと、進学指導推進校として「地域に誇れる進学校」「文武両道を実践する学校」「地域に貢献する学校」の具現化に向け、きめ細かな教育活動を通して、豊かな教養と人間性を育成し、生徒の進学希望の実現を図る学校を目指す。

(1) 学習、学校行事、部活動、地域活動等に主体的かつ積極的に関わることを通して、自律的な態度の育成や人権尊重の理解の推進を図り、互いに高め合える学校とする。

(2) 生徒の可能性を最大限に引き出す指導を行い、生徒の進路実現を図り、将来自分が生まれ育った地域のリーダーとして社会貢献できる人材を育成する学校とする。

２　中期的目標と方策

教育目標、目指す学校を具現化するため、「学力」と「人間性」の向上を図る教育活動を実践する学校経営を目標とする。

(1) 教科マネージメントを充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、教科内及び教科間の連携、授業内容や方法の工夫・改善など、３年間を見通した効果的な指導を構築し、生徒の習熟の程度や学習状況に応じたきめ細かい指導を通して、確かな学力の向上を図る。

(2) キャリア教育の全体計画に基づき、人間としての在り方生き方を自覚させ、望ましい勤労観・職業観を育成し、自己の個性や学習の成果を生かす進路を自らの意志と責任で選択決定していく能力や態度を育成する。

(3) 生命尊重教育の拡充を図るとともに、生徒の主体的な活動を充実させ自己肯定感を高める。

(4) 基本的な生活習慣の定着を図り、安全指導、問題行動防止、いじめ防止に向けた指導を徹底し、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育成する。

(5) 社会参画意識を高め、主権者として自立するための基礎的な能力や態度を育成することを目指し主権者教育の推進を図る。

(6) 学校生活の充実を図り、生徒に自信と誇りをもたせて愛校心を培い、文武両道を推進することで学校を活性化させていく。

(7) 英語教育研究推進校として、英語力向上に向けた全教員の組織的な取り組みを通じて英語教育の推進を図る。

(8) 学校説明会、見学会、授業公開等の募集活動・広報活動を充実させ、高い志をもった生徒の入学を促進する。

(9) 教育活動内容を積極的に地域に発信し、学校開放（施設開放、公開講座）や地域との連携を進め、地域に貢献できる魅力ある学校づくりを行う。

(10) 企画調整会議を中心として、学年、分掌、委員会、経営企画室の連絡調整・連携を密にし、教職員の力を集結して円滑な学校運営を推進する。

３　今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

【学習指導】

質の高い授業を実践し、全ての生徒に進学に向けた学力の定着を図る。

①　主体的・対話的で深い学びを推進し、新しく求められる学力の向上を図る。

②　生徒が表現する場面を増やす授業を展開する。

③　自学自習の習慣や計画的な学習習慣を身に付けさせ、確実な学力の向上を図る。

④　習熟度別授業、少人数授業、特別進学クラス編成等による生徒の理解度に応じた授業を行い、学力向上に向けた学習指導の充実を推進する。

⑤　模擬試験結果や生徒による授業評価の分析に基づく授業改善を推進する。

⑥　学力の定着を図るため、授業時数の確保を推進する。

⑦　英語に求められる４技能のバランス良い向上を図り、実践的コミュニケーション能力を高め、

資格取得の充実を図る。
⑧　オンライン授業やＩＣＴを活用した授業の効果的な実践を推進する。

【進路指導】
最後まであきらめさせない進路指導の充実を図る。
①　進学指導推進校として、生徒の進路実現を図るキャリア教育の充実を進め、最後まであきらめない進路指導の徹底を図り、国公立大学や難関私立大学への進学実績の向上を図る。
②　進路部と学年担任とが連携し、的確な進路情報の提供、生徒の学力分析、面談の実施、講演会や進路体験等の進路行事の充実を推進し、生徒の進路意識の喚起を図る。
③　生徒の客観的な学力分析や進学希望に基づき、長期休業日中の講習等の進学に向けた指導を組織的・計画的に行う。
④　模擬試験等のケース会議の拡充を図り、生徒個々の状況を丁寧に分析する。また、大学入学共通テスト後の出願指導の充実を図る。
⑤　国公立大学進路希望者への指導の充実を図る。

【生活指導】
規律ある学校生活の向上を図る。
①　規範意識を高め、集団生活におけるルール、マナー、モラルを身に付けさせ、自律的な生活態度とお互いを尊重する態度を育成するとともに、自分で判断し決定して実行する自己指導能力の育成を図る。
②　遅刻防止、授業開始時間や下校時間の遵守、授業規律の徹底、時と場に応じた身だしなみや挨拶の励行など「時を守り、場を清め、礼を正す」指導を徹底し、規律ある安全な生活の充実を図る。
③　いじめ等の未然防止に向け、年間３回のいじめアンケートの充実を図り、組織的かつ迅速な対応ができるよう校内体制を強化する。

【特別活動・部活動】
江北高生としての自覚と誇りを育成する。
①　部活動・委員会活動を活性化させ、自己を生かす能力を育成する。
②　学校行事の学校生活の活性化と学校への帰属意識を一層高めるため、学校行事の充実を図るとともに、系統的な年間計画を構築する。
③　部活動の一層の活性化を図るとともに、学習と部活動との両立を目指し、学校生活の充実と生徒の可能性の伸長を図る。

【健康づくり】
体力を向上させ、心の安定を図り、社会の発展に貢献し得る心身共に健康な人間を育成する。
①　生徒自らが健康を意識し、自己の健康管理に努めることを通して、進んで健康づくりを実践できる能力を育てる。
②　計画的な体育の授業等を通じ、基礎体力の向上を図る。
③　スクールカウンセラーを活用した教育相談体制の充実を図り、日頃の生活状況やいじめアンケート等に基づく個々の生徒の状況把握に努め、一人一人に応じたきめ細かい指導を実施する。
④　生徒と教員の関わりを深め、ＳＯＳを発信しやすい環境の充実を図る。

【募集・広報活動】
地域に信頼され支えられる活気ある学校づくりを推進する。
①　学校説明会、見学会、授業公開、中学校訪問、塾訪問などを一層充実させ、本校で意欲的な活動を希望する生徒を積極的に募集する。
②　充実した学校案内の作成、ホームページの更新、外部説明会への参加など、広報活動を積極的に進め、本校の諸活動への理解を広めていく。
③　本校の教育活動や成果を積極的に発信し、地域からの理解を深めていく。

【学校経営・組織体制】
伝統の上に新しい江北高校を作り上げる組織の強化を図る。

① 全教職員が学校改革への意識を高め共有することで改革を推進する。
② 管理運営規程に基づく組織的な学校運営を行い、企画調整会議を中心とした組織的学校経営を推進し、校務分掌内の協働体制を一層充実させ、校務の円滑な運営と諸課題の解決を図っていく。
③ 主幹会議において中期的課題等を精査し、その解決方法を検討する。
④ 校内研修や啓発活動を通して、教育公務員としての高い使命感・倫理観をもち、服務規律を順守することを徹底する。
⑤ 経営企画室の学校経営参画を促進し、効率的かつ効果的な学校経営を行う。
⑥ 会議や業務の効率化とペーパーレスの推進を図り、ライフ・ワーク・バランスを推進する。

(2) 重点目標と方策
① 教科指導において、学習到達度（ねらい）を明確に示し、生徒に見通しをもたせることで、生徒の学習効果を高める。
② 朝学習の計画的な実施を推進する。
③ 学習手帳の活用を充実し、生徒の自己管理能力の向上を図る。
④ 英語外部検定試験等を活用し、ＣＥＦＲ　A2.2 到達者率の向上を図る。
⑤ ＩＣＴの活用を向上させるとともに、オンライン学習の実践を推進する。
⑥ 校内予備校の効果的な実施を推進する。
⑦ 「総合的な探究の時間」の構造化を図る。
⑧ より効果的な教育活動となる年間計画に向け、課題解決を図る。
⑨ 読書活動の充実を図り、生徒の思考力・判断力・表現力の基礎を育成する。
⑩ 進路部所掌の教科主任会「学力向上委員会」の更なる充実を図り、データに基づく組織的な指導体制を強化する。
⑪ 長期休業中の講習、共通テスト後の指導体制の充実を図り、生徒にとって効果的な指導体制を強化する。
⑫ ３年生の夏期学習の充実を図るため、指定校推薦等の業務時期の改善を図る。
⑬ 自習室の学習環境を向上させ、自習室利用の拡充により、家庭学習時間の増加を図り自学自習の習慣の定着を推進する。
⑭ 模試分析会の拡充を図り課題に応じた迅速な対応を行うとともに、３学年での出願ケース会議を通じて個々の生徒の状況を共通理解し、個に応じたきめ細かな指導を行う
⑮ ３学年では、３者面談を２回以上実施し、進路実現に向けた指導の充実を図る。
⑯ 遅刻防止対策の強化を図り、規則正しい学校生活の推進と学習環境の向上を図る。
⑰ あいさつの励行を推進し、活力ある学校生活を構築する。
⑱ 授業開始時、終了時の「礼」、チャイム着席、チャイム授業開始の徹底を図り授業規律を確保する。
⑲ 自転車乗車用ヘルメット着用の徹底を図り、生徒の安全の向上を図る。
⑳ 清掃活動を徹底し、自ら学ぶ場所を整える態度を養う。
㉑ 都大会上位進出を目指し、部活動の活性化を図る。
㉒ スクールカウンセラー、特別支援コーディネーター等と関係部署の連携を深め、個に応じた適切な指導の充実を図る。
㉓ 学校案内、学校紹介動画、ホームページ等外部発信媒体の改善、学校見学会、学校説明会等募集活動の拡充を図り、中学生・保護者の理解の向上を推進する。
㉔ 体罰や暴言のない指導、服務事故根絶の徹底を推進する。
㉕ 週に一度以上の定時退庁の実施等によりライフ・ワーク・バランスを推進する。

(3) 数値目標

① 生徒の家庭学習時間	３年生：２４０分　２年生：１５０分 １年生：１２０分
② 大学入学共通テスト受験者率	９５％
③ 大学入学共通テスト６教科受験	５０人

④	大学入学共通テスト８０％得点者	１０人
⑤	国公立大学の現役合格者	３０人
⑥	難関私立大学（４校）現役合格者	１０人
⑦	ホームページ更新回数	３００回
⑧	入学者選抜応募倍率	１．７倍
⑨	生徒、保護者満足度	８５％